

暮らしの情報コーナー

◆このコーナーの見方◆
 問=問い合わせ 申=申し込み 市=市役所(〒669-1595 三輪 2-1-1) TEL=電話
 ハ=ハガキ 往ハ=往復ハガキ F=ファクス e=eメール
 ※申し込みがハガキ、ファクス、eメールの場合は、必要事項(〒住所、名前、年齢、電話番号、ファクス番号、講座名)などを明記してください。
 ※料金表示がないものは参加無料
 ※申し込みは指定方法のいずれかで可
 ※記載がないものは申し込み不要

講座

ふれあいと創造の里 陶芸館

【経験者陶芸教室】8月10日～10月12日の毎週金曜日 9時30分～15時 ※1回でも体験可 対象:中学生以上の経験者 定員:各日先着10人 受講料:1回1,000円 ※市外の方は5割増し 材料費:粘土1キ。につき1,000円～1,100円 申 希望日の3日前までに下記
 【子ども陶芸教室】8月5日～10月7日の毎週日曜日 10時～12時 対象:小学生以上(小学2年生以下は保護者同伴) 定員:各日先着10人 受講料:1回800円(材料費込)※市外の方は5割増し 申 希望日の前日までに下記
 申問 必要事項を TEL F で同陶芸館(568-4340 F 兼)月曜休

生涯学習

【オープンセミナー「高齢者のための食事対策～やさしい高齢者の栄養学」】8月7日(火)10時～11時30分 さんだ市民センター 定員:160人 受講料:300円 申問 7月31日消印有効、必要事項を ハ F で、市文化スポーツ課(559-1587 F 563-7776)

キッピー山のラボ (有馬富士自然学習センター)

【あさムシ!】7月22日(日)・29日(日)10時～11時 対象:幼児～小学生・保護者 持ち物:虫取り網、虫かご、帽子、水筒 申 当日受付



【むしさんデビュー】7月3日～8月31日の平日(8月14日・15日は除く)11時～11時30分、13時30分～14時 対象:未就学児・保護者 申 随時受付

【キッピー山のラボのマスコット(つよしくん)を折ってみよう】7月22日(日)13時～16時 定員:20人 参加費:300円 申 当日受付
 【ビー玉万華鏡を作ろう】7月29日(日)13時～16時 定員:25人 参加費:400円 申 当日受付
 申問 〒669-1313 福島 1091-2 キッピー山のラボ(569-7727 F 569-7737)

三田ふるさと学習館

【展示「北国に理想郷を求めた三田の先人達」】明治初期、北海道開拓を志した「赤心社」の足跡を辿る 7月20日(金)～10月31日(水)

【夏休み自由研究・郷土の歴史なんでも相談室】7月20日(金)～8月26日(日) 申 前日までに TEL F で下記

【展示 三田の昔話「むかし、むかしその昔…」】7月20日(金)～9月30日(日) 旧九鬼家住宅資料館 申問 三田ふるさと学習館(563-5587 F 兼)10時～17時、月曜休

市立図書館

【「楽しく語ろう!郷土史井戸端会議」番外編】7月21日(土)13時～14時30分 テーマ:三田の民話で見る地域の昔 定員:先着50人 問 図書館本館(562-7300 F 562-7301)

さんだクラフトハウス (ガラス工芸館)

【特別限定夏休み体験】8月1日(水)～31日(金)(火曜日は除く)9時～15時 定員:①お絵描き風鈴体験 先着150人 ②ぷるぷるジェルキャンドル 先着100人 参加費:①②1,000円 対象:①②どなたでも(小学生以下は保護者同伴) 申問 TEL で、さんだクラフトハウス(564-5111 F 564-5118)火曜休

野外活動センター

【望遠鏡の学習と星空観察会】8月11日(土・祝)18時30分～20時30分 有馬富士公園パークセンター 対象:小学生以上(保護者同伴) 定員:100人程度 申 8月8日までに TEL F で下記 ※天候不良時、星空観察会は中止



【日帰りキャンプ体験】9月8日(土)10時～17時 対象:小学生 定員:20人(多数の場合抽選) 参加費:1,500円 申 7月29日までに TEL F で下記 申問 野外活動センター(569-0388 F 569-1916)

三輪明神窯史跡園

【伊藤瑞宝やきもの講座】①少人数でじっくりシニアやきもの講座 8月10日(金)10時～12時 ②季節のやきものづくり「お茶碗」8月12日(日)10時～12時 ③三田焼・青磁講座 8月12日(日)13時～15時 対象:①55歳以上 ②③どなたでも(小学2年生以下は保護者同伴) 定員:①③各15人 ②25人(多数の場合抽選) 参加費:①②各700円 ③700～1,000円 申問 開催日の1週間前までに TEL F 来園で、三輪明神窯史跡園(563-8211 F 兼)9時～17時、月曜休(祝休日は翌日休)※団体受付、出張やきもの講座あり



淡路風車の丘

【SUP～サーフボードに立って乗る～】毎週土・日曜日(7月29日、8月5日を除く)10時～15時 受講料:1時間1,800円 定員:各回4人(小学4年生以上)

【カヌー体験】毎週土・日曜日(7月29日、8月5日を除く)10時～12時、13時10分～15時10分 受講料:大人2,800円(中学生以上)子ども2,200円(小学1年生以上) 定員:各回9人 申問 参加日の2日前までに TEL F 窓口で、淡路風車の丘(567-5780 F 兼)月曜休(祝休日は翌日休)※多数の場合抽選



手話通訳者養成講座II

9月3日～31年3月25日の月曜日10時～12時(全25回、10月1日・15日は13時～15時も有) 対象者:手話通訳者養成講座I修了者 募集人数:15人(多数の場合、市内在住・在勤・在学を優先のうえ抽選) 受講料:2,000円(テキスト代別途) 申問 8月3日までに、申込用紙(障害福祉課、各市民センターなどに設置、市ホームページからもダウンロード)に必要事項を記入し、郵送 F e 窓口で市障害福祉課(559-5075 F 562-1294 e syogai_u@city.sanda.lg.jp)



募集

第24回千丈寺湖月見の夕べ 出演者募集



9月24日(月・祝)17時～18時の間で4団体程度(多数の場合抽選) 青野ダム特設舞台 対象:個人、団体、ジャンル不問 演技時間:準備撤収含む15分以内 参加料:無料(ただしお茶席券5枚購入) 申 7月31日必着、必要事項を記入し TEL F ハ e で 文化協会(559-0404 F 兼 e s-bunka0404@clear.ocn.ne.jp) ※問い合わせは文化協会 三好(090-3825-2154)

絵で伝えよう!

「わたしの町のたからもの」絵画展

三田のたからものとして自慢できる地域の文化財や身近な自然環境の素晴らしさをテーマとした絵画を募集します。対象:市内在住・在学の小・中学生 画材:四つ切画用紙(水彩・アクリル・クレパスなど) 申問 9月5日必着、学校でとりまとめて応募または持参で文化スポーツ課内三田ユネスコ協会事務局(559-1587 F 563-7776)



三田市企業人権を考える会にご加入ください

市内の事業所が加入している団体で、働きやすい職場づくりを推進するため、職場における人権問題(パワハラ、セクハラなど)に対応した研修会の開催などを行っています。加入すると、①研修会への無料参加(講演会・人権啓発ビデオの上映など)②人権啓発講座や研修会の情報提供 ③人権啓発ビデオ、人権啓発図書の無料貸出が受けられます。年会費:1,500円 申問 産業政策課内三田市企業人権を考える会事務局(559-5085 F 559-5024)

その他

子どもたちの水の事故を防止しよう!



夏休みも間近に迫り、子どもたちが水辺で遊ぶ季節を迎えます。ため池や水路など危険な場所で遊ばないように、地域の皆さんも声かけをお願いします。また、管理者の皆さんは、防護柵や立て看板の設置状況など、水難防止対策についての確認をお願いします。問 農村整備課(559-5095 F 562-2175)

「さんだ夢花火」作品展の開催

第40回三田まつりで募集した「家族で見た。わたしの夢花火」の作品を展示します。期間:7月24日(火)～8月3日(金)市役所1階ロビー 時間:9時～17時30分 問 産業政策課内三田まつり実行委員会花火部会事務局(559-5085 F 559-5024)



身体障害者補装具の巡回相談

兵庫県身体障害者更生相談所による、身体障害者用補装具(義手・義足・装具など)の交付や一部修理に必要な適合判定会を実施します。日時:8月24日(金)9時30分～12時 総合福祉保健センター 対象:障害者総合支援法により補装具の新規交付や再交付が必要な人 持ち物:身体障害者手帳、使用中の補装具、印鑑 申問 8月3日までに、必要事項を窓口で障害福祉課(559-5075 F 562-1294)土・日曜、祝日除く ※申込結果は後日連絡

三田市史だより

< 153 >

九鬼家の「三つ巴」と「七つ星」

寛永9(1632)年9月15日、志摩国鳥羽城主九鬼守隆は60年の生涯を閉じました。守隆が遺した5万6千石の持ち高は、翌年3月付で五男久隆に3万6千石、三男隆季に2万石が配分され、それぞれ摂津国三田と丹波国綾部に所替えとなりました。これにより水軍としての九鬼家の歴史は閉じられることになりました。

一連の過程には複雑な背景があり、今も未解明の点があります。しかしこの異動は、守隆の跡継ぎをめぐる久隆と隆季が引き起こした「お家騒動」という不祥事に対する幕府の処分といわれています。この結果、九鬼家は家柄の指標でもある持ち高を分割されて二つの小規模な大名とされたわけではなく、三田・綾部両家に採えある城主の格を失うことになりました。



九鬼家の「三つ巴」と「七つ星」

鳥羽時代に九鬼水軍の名を一躍天下に轟かせたのが守隆の父、嘉隆です。しかし関ヶ原の合戦の際、父の嘉隆は豊臣方に、子の守隆は徳川方につき、その結果、父を自害に追い込んだ子の守隆が、外様扱いではあるが徳川方の大名として生き残ることになりました。

これを機に守隆は、家紋をそのままの「三つ巴」から「七つ星」に変更しました。この変更は、九鬼家が徳川大名として生まれ変わったこと象徴とされます。

しかし「お家騒動」を経て、「三つ巴」が再興されます。幕府の処分により分立した二つの九鬼家のうち、三田の久隆が父の「七つ星」を継いだのに対して綾部の隆季は、独立に際して祖父の「三つ巴」を継承したのです。

結果的に九鬼家は、一度は失った「三つ巴」に象徴される嘉隆までの伝統を、「七つ星」に象徴される新たな歴史とともに継承することになりました。また久隆が拝領した三田の地は、海とは無縁の内陸とは言え、摂津・丹波・播磨の結節点という要衝であり、元は松平氏という譜代大名の領地です。持ち高を減じられたとは言え、決してへき地を宛がわれた訳ではなく、「海から山へ」という九鬼家の異動は、単純な水軍の封じ込め策ではありません。

(文化スポーツ課 559-5144 FAX 563-7776)